札幌大学地域連携センターニューズレター

Sapporo University Regional Cooperation Center Newsletter

vol.202023.8.23

むかわ町と北海道鵡川高等学校との連携事業

昨年度からスタートした「地域×高校×大学連携事業」は、むかわ町・北海道鵡川高等学校・本学の三者による包括連携協定に基づく取り組みの一環と して実施されており、鵡川高校で行われている課題探究型学習「むかわ学」に学生がファシリテータ―として参画し、高校生との交流や対話を通し、提言 発表会へのサポートを行うものです。本事業を通し、学生のファシリテーション能力や地域の現状理解度の向上、並びに課題解決能力や地域発展のための アイデア提案力などの修得・向上も目指しています。

第1回交流会を実施しました

時:令和5年5月8日(月) 15:10-15:55

場所:オンライン開催(Zoom)

参加者:札幌大学小山ゼミ4年生、鵡川高校3年生

今年度最初の活動として、高校生と大学生がオンラインで対面し、今後の合同活動に 向けてコミュニケーションを図り、信頼関係を構築することを目的とした交流会を実施 しました。

まず、鵡川高校の木村先生から、むかわ学の概要や大学生に求める関わり方、SNSの 利用マナー等について説明があり、その後研究テーマ別のブレイクアウトルームに移 り、グループワークを行いました。お互いに緊張した面持ちでスタートし、慣れないオ ンラインでの意見交換に少々戸惑った様子も見られましたが、各グループの進捗状況の 把握やこれからの活動に向けての意志共有を行うことができたようでした。

今後は、Zoomでの打合せやLINEのオープンチャットを活用した活動を中心に進めるこ とを全体で確認し、終了となりました。学生からは対面での交流を望む声も寄せられた ため、鵡川高校訪問に向け、日程を調整することとなりました。

●当日スケジュール

15:10- むかわ学概要説明等 15:15- グループワーク

自己紹介や進捗確認

15:50- 発表

●各グループの研究テーマ

- ① サラブレッドツアー
- ② 空き家ビジネス
- ③ PR動画
- ④ 防災
- ⑤ 獣害
- 6 スポーツ振興
- 7 町民参加イベント
- ⑧ ふるさと納税
- 和牛商品開発



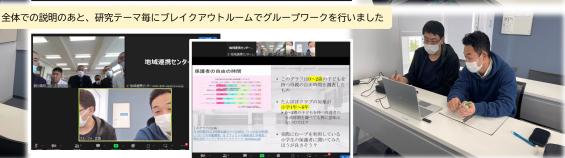












◆LINEオープンチャットやZoomを活用した合同活動がスタートしました

第1回交流会のあと、研究テーマのグループ毎にLINEオープンチャットを開設し、高校生と大学生で直接連絡を取り始め ました。コミュニケーションを図りながら、必要に応じてオンラインでの打合せを設定したり、今後の活動の展開について 確認を行ったり、遠隔ではあるものの活動が活発に行われるようになりました。



← 和牛商品開発グループの細海さんと田畑さん LINEオープンチャットに高校生から試作品の写真 が送られてくるなど、活動報告が定期的に行われ ています。並行して、Zoomでのオンライン打合せ も行い、グループでの取組を進めています。

ふるさと納税グループの川村さんと平川さん 川村さんは、昨年度から本プログラムに参加してい ます。2年目の今年は、昨年取り組んできた経験を 活かして、さまざまな視点から地域課題と向きあ い、グループをまとめてくれることを期待していま



鵡川高校を訪問し、第2回交流会を実施しました

日 時:令和5年7月24日(月)

場所:鵡川高校

参加者:札幌大学小山ゼミ4年生、「教員発案型授業B」履修学生、鵡川高校3年生

協力:HIT(北海道総合研究調査会)

第2回交流会は、小山ゼミの4年生に加え、前年度プログラム参加学生と「教員発案型授業B」でむかわ町について学ん でいる学生も参加し、9月の提言発表会に向けて研究内容のブラッシュアップを図ることを主な目的として実施しました。

5月のオンライン交流会以降、LINEのオープンチャットやZoomを利用して活動を進めてきましたが、実際に会うのは今回 が初めてということもあり、第1部はアイスブレイクとしてインタビューゲームからスタートしました。少し緊張がほぐれ たところで、HITから今後の活動の進め方について解説いただいたあと、もう一度高校生から大学生に向けて、提言発表会 での発表の流れを意識しながら研究内容について説明するグループワークの時間が設けられました。

休憩後の第2部では、引き続きグループワークとして、現在取り組みの中で課題となっている点の整理と解決策等を検討 し、提言発表会までのToDoリストの作成を行ったほか、一部グループでは、家具作りや撮影などの作業を一緒に進めていま した。最後は全体でまとめの発表を行い、交流会終了となりました。

限られた時間ではありましたが、これからより深く研究を進めていくため、有意義な時間を過ごせたようです。

13:15 むかわ町に到着。道の駅を見学しました!

恐竜ほりたんと記念撮影

鈴木章記念ギャラリー

館内施設を見学(四季の館:伊藤支配人が案内してくださいました)









14:00 鵡川高校に到着

14:05 交流会第1部(インタビューゲーム)











引き続き 交流会第1部(グループワーク)

15:05 交流会第2部(グループワーク)

9月の提言発表会での発表を想定し、高校生から大学生へ説明





提言発表会までのToDoリスト作成。一部グループは合同作業を実施

【参加した学生の感想】

「実際にお話しして、高校生がこの活動をどう進めていきたいのか理解 を深めることが出来ました。オンラインでのやり取りだけでは汲み取れ ない気持ちや意思を、交流会でお互いに確認することができて、今後の 活動を進めていきやすくなりました」

「まずグループの研究内容を詳しく知れて安心できたことと、まだまだ 話し合う必要がある課題も見つかり良い時間になりました」

「オンラインではなく、今回のように対面で高校生と大学生が話し合う 機会が多いほど、活動に対する理解や熱意が増していくと思いました」

次回の交流会は8月末を 予定しています。



発行:札幌大学地域連携センター(RCC) 〒062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3番1号 TEL: 011-827-5877